

△産業宣教 ピリピのルデヤ(使 16:11-15)	△レムナント伝道学 レムナントの専門性(詩 78:70-72)	△核心 私の中に神様のやぐらを作らなければ(マタ 27:25、ルカ 23:28)	△散らされた弟子たち 私のやぐら											
<p>□序論_やぐら 門が閉ざされた状態で、マケドニアへ導かれたことと、ルデヤに会ったことが祈りの中で成し遂げられたこと。</p> <table border="1" data-bbox="114 288 647 371"> <tr><td>朝に呼吸をしてスケジュール置いて祈り</td></tr> <tr><td>昼に意味を見つけて味わう祈り</td></tr> <tr><td>夜にみことばで答えを見つかる集中祈り</td></tr> </table> <p>「御座で計画されたこと」祈るとき御座で計画されたことが、そのときに成り立つのだ。</p> <p>1. 総理になった奴隷 御座で計画されたそのことの中にあるのだ。</p> <p>2. 世界奇跡を起こしたモーセ。御座と通じる祈りのやぐらはすばらしいことだ。</p> <p>3. 戦争を止める祈りをしたサムエル</p> <p>4. 1千やぐら、神殿を準備した人物がダビデ</p> <p>5. 戦わずに勝った人々 祈りを味わっているのに、神様は戦わずに勝つようにされた。</p> <p>6. 王 王たちを教える知恵が与えられた。</p> <p>7. 迫害者を伝道者に神様が立てられたのだ。</p> <p>□本論_助けた重職者(産業人)</p> <p>1. <b>あらかじめ計画された所</b></p> <p>1) アジヤに福音を伝えるようにされ、福音を防いだりもされた。</p> <p>2) トロアスで重要な決定を下す。</p> <p>3) マケドニア トロアスでマケドニアの幻を見る。</p> <p>△意味を知って祈りの中に入れば、神様があらかじめ計画された所に行くようになる。</p> <p>2. <b>神様が門を開けられる所</b></p> <p>1) 祈り場「祈り場があると思われた川岸に行き」(13節)</p> <p>2) 心「主は彼女の心を開いて」(14節)ピリピがひっくり返るようになる出会い</p> <p>3) 家「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか、私の家に来てお泊まりください」(15節)ここにものすごいやぐらを建てるようになる。これがピリピ教会を作り出す。</p> <p>3. <b>未来-神様のこと</b></p> <p>1) 使 16:16-18 イエスの御名でいやす働き</p> <p>2) 使 16:19-40 パウロが監獄に行かないこともできたが、監獄の長官とその村を見て行ったこと。</p> <p>3) ピリ 4:4-13 パウロが監獄でピリピ教会に「喜びなさい」「何も思い煩わないで、祈りと願いによって、神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」13節に「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」これは礼拝と働きがどれくらい重要なかを確認することができる。</p> <p>□結論</p> <p>1. 祈りで私の中に神様のやぐらを作るのだ。</p> <p>2. 私の中に神様のことが作られるのだ。これが CVDIP だ。</p> <p>3. 237 作品が出てくれば世界福音化、経済回復する。</p>	朝に呼吸をしてスケジュール置いて祈り	昼に意味を見つけて味わう祈り	夜にみことばで答えを見つかる集中祈り	<p>□序論_ RT の祈り(やぐら)</p> <p>1. 一歩(次のこと) 一歩だけ先を行きなさい。</p> <p>1) 学業 2) 技能 3) 職業(産業)</p> <p>2. 持続-タラントを確認するようになる</p> <p>3. 祈り-専門性が出てくるようになる。</p> <p>□本論_ 根源(御座のやぐら、CVDIP - 24・25・00, 1000 年作品)</p> <p>1. 機会(詩 78:70-72)</p> <p>1) 最初の機会</p> <p>2) 最後の機会</p> <p>3) 永遠の機会</p> <p>△今、悟れば世界を動かして永遠のことを握る機会になる。</p> <p>2. 優先順位</p> <p>1) 霊性-ダビデが先に持ったこと</p> <p>2) 知性-ここで知性が出てきた</p> <p>3) 専門性-この二つの中で専門性が出て来た。</p> <p>3. <b>実際のやぐら(新しいやぐら)</b></p> <table border="1" data-bbox="674 775 770 943"> <tr><td>やぐら</td></tr> <tr><td>会堂</td></tr> </table> <p>(人)-実際に人を生かすことができるやぐらを作ったのだ。</p> <p>-パウロはレムナントを置いて会堂に入って行って会堂やぐらを作った。</p> <p>□結論</p> <p>100 年答え→ 1000 年答え</p> <p>△一度に 100 年の答えが来てこそ他の人を生かすことができる。後ほど終える時は 1000 年の答えが来ている。ダビデは 1000 年生きなかったが、その答えは 1000 年分だ。モーセは 120 歳まで生きたが実際の答えは 1000 年を超える。</p>	やぐら	会堂	<p>マタ 27:25、ルカ 23:28 福音を受けておいて福音も知らず、伝えなかったイスラエルの次世代は、2 千年間、苦難を受けた。</p> <p>聖書にある答え、復興、経済、宣教回復-私の中に神様のやぐらを作るべき</p> <p>□序論</p> <p>1. 福音ない証拠</p> <p>1) ヨーロッパ地域-教会はなくて偶像神殿は多い。</p> <p>2) アメリカ-ゾンビ時代 3) 次世代-麻薬時代</p> <p>2. ネフィリムのやぐら</p> <p>1) 3 団体 2) Temple Stay-仏教、他宗教 3) 瞑想運動</p> <p>3. 迫ってくる問題 1) AI 時代 2) 使 13、16、19 章問題 3) 病気時代</p> <table border="1" data-bbox="1077 496 1794 695"> <tr><td>光のやぐら建てる道だけ-教会の中に神様が備えておかれた弟子だけ立ててもできる</td></tr> <tr><td>創 1:3 本来のこと回復-創造の光</td></tr> <tr><td>イザ 60:1-22 主の栄光があなたの上に臨んでいる。起きよ。光を放て。</td></tr> <tr><td>マタ 5:13-16 世界の光</td></tr> <tr><td>ヨハ 1:11、12 光として来られたイエス様を受け入れる者は神の子どもになる</td></tr> <tr><td>1ペテ 2:9 この光を現わすために王である祭司、預言者として呼ばれた</td></tr> </table> <p>□本論_先にすべきこと</p> <p>1. 過去から解放</p> <p>1) 12 戦略-考え、言葉が私中心(創 3、6、11)。抜け出すのが祈り。目に見えないことに惑わされる(使 13、16、19)。うまくできれば別のこと、できなければ落胆(未信者 6 つ)</p> <p>2) 7 時代 傷-7 時代がイスラエルをなぜ滅ぼしたのかも知らない。</p> <p>3) 未来心配</p> <p>2. 私の中に建てるべき</p> <p>1) 創 1:27 この驚くべき光を私のいのちの中に</p> <p>2) 創 2:7 私のためしいの中に</p> <p>3) 創 2:18 私の現場の中に受け入れること-いやし、サミット</p> <p>3. やぐらの内容</p> <p>1) 1、3、8 キリスト、神の国、ただ聖霊(三位一体の神様)</p> <p>2) カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間を説明できるやぐら</p> <p>3) 霊的 DNA が変わる。-新しい被造物、私は死んで私の中にキリストが、パウロの告白(II コリ 5:17、ガラ 2:20、ピリ 3:8-20)</p> <p>4) 3・9・3 -三位一体の神様が御座の力で私とともにおられ過去、今日、未来を変えられる</p> <p>5) 使 1:11-14 これ置いて祈り始め、使 2:1-18 三つの祭り契約成就、未来が見え始める</p> <p>□結論_ <b>237 センター</b>-実際のやぐら作る訓練</p> <p>1. 3 団体の問題 2. 宗教団体はやぐらがある 3. シャーマニズム時代</p> <p><b>核心</b>を復活させなさい-レムナントに祈り、専門家との出会い</p> <p><b>金土日時代</b>-この(結論)やぐらを止めるべき。これがこれからの伝道</p>	光のやぐら建てる道だけ-教会の中に神様が備えておかれた弟子だけ立ててもできる	創 1:3 本来のこと回復-創造の光	イザ 60:1-22 主の栄光があなたの上に臨んでいる。起きよ。光を放て。	マタ 5:13-16 世界の光	ヨハ 1:11、12 光として来られたイエス様を受け入れる者は神の子どもになる	1ペテ 2:9 この光を現わすために王である祭司、預言者として呼ばれた	<p>実際に私のやぐらをどのように作るべきなのか</p> <p>□本論</p> <p>1. 私の中に</p> <p>1) 私の中に神の国が臨めば、時空超越の答えが来る。237 の力ができる。</p> <p>2) 使 1:1、3、8 この部分が私に臨むこと</p> <p>3) 使 2:1-18 それゆえ、マルコの屋上の間に集まって祈り始め、2:9-11 すると散らされた弟子が 15 か国から来ているのを見るようになる。</p> <p>2. 今日</p> <p>1) 使 13:1-4 やぐらを建てるための祈りから現場で必ずすべき</p> <p>2) 使 16:6-10 うまくいかないとき、時代的な答えが待っている。</p> <p>3) 使 19:1-7</p> <p>3. 未来</p> <p>1) 使 19:21 (私のローマはどこなのか)</p> <p>2) 使 23:11 (私の証拠がなければならぬ)</p> <p>3) 使 27:24 (私のメッセージあるべき)</p> <p>□結論_ <b>祈り</b>が変わる。</p> <p>1. 吸う息で神様のやぐらが私に入ってくるように。三位一体の神様、御座の力、3 時代が私に臨むように</p> <p>2. 吐く息のときは CVDIP、1 千万弟子、思い出すみなさん、行かなければならない場所を置いて祈り</p> <p>3. 集中する時間には作品を作って、答えを見つける</p> <p>やぐらの祈りを始めなさい</p>
朝に呼吸をしてスケジュール置いて祈り														
昼に意味を見つけて味わう祈り														
夜にみことばで答えを見つかる集中祈り														
やぐら														
会堂														
光のやぐら建てる道だけ-教会の中に神様が備えておかれた弟子だけ立ててもできる														
創 1:3 本来のこと回復-創造の光														
イザ 60:1-22 主の栄光があなたの上に臨んでいる。起きよ。光を放て。														
マタ 5:13-16 世界の光														
ヨハ 1:11、12 光として来られたイエス様を受け入れる者は神の子どもになる														
1ペテ 2:9 この光を現わすために王である祭司、預言者として呼ばれた														

△区域メッセージ (第 15 週)  
 答えの確信と 25 の答え (マコ 11:24)

△聖日 1 部礼拝/復活主日  
 復活のキリストとともに (ロマ 6:1-14)

△聖日 2 部礼拝/一千やぐら委員会献身礼拝  
 世の奴隷 - 義の奴隷 (ロマ 6:15-23)

## □序論

マコ 11:21 いちじく-イエス様がまだ実がなる時ではない、いちじくをのろわれたのに、弟子はそこに対して質問をしなかった。私たちがそのように信仰生活をする。なぜ宣教大会をしなければならないのか。この時代、私たちの教会の神殿建築はなぜするのか。なぜ私たちが 30 年前からここで伝道運動して全世界に広まっているのか。多くの質問をしなければならない。正確な契約を握ってこそ、答えが来る。このいちじくは、イスラエルの国を象徴していて、イスラエルの国家の木だ。実がない、これがイスラエルの未来だ。

マコ 11:22 神様を信じなさい-そのときイエスが神様を信じなさい。

マコ 11:23 山-神様の力は山も移すことができる。

マコ 11:24 祈ったことは受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

△福音 X、霊的な力 X、実力 X -イスラエル民族が福音と霊的なことを知らないから霊的な力がない。それゆえ、強大国や他の国に勝つ実力もない。

## □本論

## 1. イエス・キリストの御名

- 1) 約束-この約束がとても多い。
- 2) 答え-答えを約束された。イエスの御名で、みことばを握って、霊的なことと神の国、神様のみこころを分かれば無条件に答えられる。
- 3) 5 つ-答えも 5 つで来る。あることは、きて、あることは後にくる。間違った祈りは答えが来ない。あることは反対側から来て、あることは祈らなかったが、あらかじめ来る。

## 2. こと-祈るとき、どんなことが起こるのか

- 1) 私の中に-三つ、創 1:27 神のかたち、創 2:7 神様が吹き込まれたいのちの息、創 2:18 神様の力が私の生活の中に、
- 2) 上のこと-御座の力、時空超越、237 の光、
- 3) 隠されたこと-空前絶後の祝福、3 時代を生かす力が臨むようになる。

## 3. 霊的集中

- 1) 小部屋-ヨセフは奴隷で、監獄で
- 2) ホレブ山-モーセはホレブ山で
- 3) 契約の箱-サムエルは契約の箱のそばで
- 4) 羊飼-ダビデは羊飼として山で
- 5) ヨルダン-エリシャはヨルダンまでついて行って霊の二つの分け前を
- 6) 窓-ダニエルはエルサレムに向かった窓を開いて
- 7) ただ、熱心に、もっぱら-初代教会はただ、熱心に、もっぱら祈りに専念した。

## □結論

1. 創 1:3 私たちに創造の光が
2. イザ 60:1-2 「起きよ。光を放て」
3. 1 ペテ 2:9 「この光を宣べ伝えるために呼んだ」

△私たちを祈りの見張り人として呼ばれたのだ。

## □序論\_聖書にある答えを受けるために先に知るべきこと三つ

1. サタンが 12 の戦略で人間の中にやぐらを建てた。(マタ 12:43-45)
  - 1) 創 3、6、11-私、私のこと、私の成功だけ分かるように
  - 2) 使 13、16、19 -目に見えること、偶像、神殿に陥るように
  - 3) 未信者状態 6 つでアンテナを立てて
 △ずっと不安、不満、不平を言えば、これが人生を掌握して、脳に入ってやぐらになり、たましいの中に入り込んで地獄とつながる。
2. サタンのやぐらをなくす二つの道-キリストの死と復活
  - 1) キリストの死 (I ヨハ 3:8、創 3:15) によってサタンのやぐらを壊した
  - 2) キリストの復活 (ロマ 6:3、4、5、8、II コリ 10:4)
    - (1) ロマ 6:3、4 その死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られた... キリストが死者の中からよみがえられたように...
    - (2) II コリ 10:4 キリストは要塞をも破る。
3. 確固たる契約を握って信仰を持たなければならない。

## □本論

1. キリストが死なれることによって、すべての暗やみ問題を打ちこわされた-長い間続いたサタンのやぐらを打ちこわされた
  - 1) 過去破壊-永遠の前のキリスト
  - 2) 誤った刻印破壊-受肉されたキリスト
  - 3) その御名で祈れば働き-復活されたキリスト
  - 4) 未来を完全に責任を負われる-再臨主キリスト
  - 5) 私の背景-さばき主キリスト
2. キリストの復活は希望と力にあずかる力を与えるためだ-御座の祝福を味わうこの恵みの中に
  - 1) 二つの祈り-身分と権威祈り
  - 2) 助け主聖霊とともに、働かれることを約束
  - 3) 祈るときに起こること
    - (1) 崩れる暗やみのやぐら (2) マタ 28:16-20 天と地の権威で働き
    - (3) マコ 16:19-20 御座の力で働き
3. 義の器として君たちのからだを神様にささげなさい-霊的戦いをしなさい(未来備え)
  - 1) 私の周囲にある問題と霊的に戦う義の器
  - 2) 今日の霊的戦いをする義の器
  - 3) ローマの暗やみ(全世界の暗やみ)と戦って勝つ義の器
 △長い間続いたサタンのやぐらを壊しなさい。御座の祝福を味わう恵みの中に入りなさい。未来に備える義の器としてささげなさい。

□結論\_毎日、復活の主に会う時間を持たなければならない。

1. 朝-すべてのスケジュールの中にこの祝福が現れる祈りをしなさい。
2. 昼-すべての出会いにこの祝福を伝達する祈りをしなさい。
3. 夜-すべての問題とすべての答えを持ってこの祝福が臨むように祈りなさい。

ダビデが受けた答え:1 千やぐら-神殿準備 (1 千やぐらの本部) ここに 237 を生かすプラットフォーム、見張り台、アンテナがなければならない。今回、回復しなければならない。

△貧困、病氣、無能、私たちの大人が持っていたことだ。神様が願われることをできないから、これを置いて祈った。これが私にはない。△世界宣教しなさいとレムナント 7 人を奴隷に、捕虜に送られたのだ。行かなくて祈れば良い。どこかに行くのではなく、祈るのだ。それが 24 で、やぐらだ。祈りのやぐらから築かなければならない。

朝の祈り	昼	夜
ひとりの時間	出会い (仕事)	答え見つける
準備しながら呼吸 (集中方法)	3・9・3 味わい	集中 (神殿建築、1 千やぐら)

23 節 (鍵) -二つの中一つだ。世の奴隷か、義の奴隷かだ。

罪の奴隷になったローマ	福音を防いで滅ぼされるしかないユダヤ人	福音を持った者
光を照らすことが神様のみこころ	サタンの奴隷	義の奴隷になる奥義

## □序論\_罪の奴隷(サタン=主人)

1. 私の中にあるサタンのやぐらを崩しなさい (II コリ 10:4)
    - 1) 創 3:15 女の子孫-へびの頭 X
    - 2) I ヨハ 3:8 悪魔のしわざを打ちこわすため
    - 3) 使 3:6 イエス・キリストの御名で
 △使 13:1-8、16:16-18、19:8-20 サタンの陣から崩さなければならない。
  2. 律法とサタンの奴隷になっているユダヤ人のやぐらを止めなさい
  3. サタンに捕われて殺人と侵略を継続するローマのやぐらを止めなさい
- △福音を悟って祈ればサタンのやぐらから崩れる。

## □本論

1. 義のやぐらを作りなさい (16 節)
  - 1) 3・9・3 すべてのことにみことばを見つける祈り (朝)、祈り伝達 (昼)、集中祈り (夜)
  - 2) 創 1:27 私のいのちの中に、創 2:7 私のたましいの中に、創 2:18 私の生活の中に
2. 解放させるやぐらを作りなさい (22 節)
  - 1) 異邦人の庭 2) 祈りの庭 3) 子どもたちの庭
3. 永遠のいのちを伝えるやぐらを作りなさい (23 節)
  - 1) 永遠を見たこと-イエスの中にある永遠のいのちだ (23 節)
  - 2) 25 (神の国) という祝福を味わうこと
  - 3) 24 (やぐら) -私の生活の中に臨んだこと

## □結論\_237-5000 種族生かす実際の準備

1. 幕屋 (持っているものみな出して作った)、神殿 (一生準備、すべての教会信徒が起きるように祈り)、教会 (世界のあちこちに起きるように祈り)
2. 任職式のとき、三つの庭の中の 1 つ、1 千やぐらに合わせなさい。
3. 裏面契約 (3 無) -伝道で気づき貧困、病気の奴隷になったことがなくなるように祈り